

実行プラン検討表「健康・福祉」編

方策1 高齢者の活動機会の充実

具体的な取組み	内容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
①老人クラブ等の強化による生きがいがづくり	人と人との繋がりを大切に、老人クラブ等への加入促進を図るための声かけ運動を継続的に行い、組織を強化させ、更なる活動の充実を図ることで、生きがいがづくりを推進する。	1. 老人クラブ等への加入促進（各種事業紹介・声かけ運動）		2. 老人クラブ等の活動の充実					1. 積極的な声かけ運動が、継続的に行われているため、一部の自治会で会員数の増加が見られる。 2. グランドゴルフ大会、スポーツ大会、三世代交流事業への参加等、活発に事業が展開されている。 役員の後継者不足の解決を図る必要がある。	安全・安心部会	A	・現在、方策にあるような活動について実施しており、継続して推進を図る
②高齢者の社会参加の促進	上記の高齢者団体と連携を図りながら高齢者ボランティアバンクを設置し、ボランティア活動を行うとともに、高齢者ボランティアと地域団体との連携を強化することで、ボランティア活動の更なる充実を図る。	1. 高齢者ボランティアの募集 2. ボランティアバンクを設置 3. 市のボランティアセンターを活用 4. ボランティアニーズの調査 5. 1人1分野ボランティア活動の実施		6. 高齢者ボランティアと地域団体との連携強化					1. ～6. 登録を呼び掛ける文書の作成など、今後は具体的な運動を展開していく予定である。 人材を確保するために、他の部会との連携・協力が必要となってくる。 6. 高齢者に限らず、各個人が地域団体にボランティアとして協力しているケースはある。	安全・安心部会	A	・現在、方策にあるような活動について実施しており、継続して推進を図る

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む),「—」未着手

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

実行プラン検討表「健康・福祉」編

方策2 世代間交流を通じた生きがいの推進

具体的な取 り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現 状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗 状況	5年後までに	進捗 状況	10年後までに	進捗 状況			部 会	評 価	具体的な方法及び理由
③世代間交 流の充実	地域における三世代交流事業 (※)を推進するとともに、高 齢者が地元の幼稚園や保育園 に出向き、園児に昔ながらの 遊びや伝統行事等を伝えるこ とで、世代間交流を促進す る。	1. 地域における三世 代交流事業を推進 2. 高齢者が地元幼稚 園や保育園の園児に出 向き、昔ながらの遊び 等を伝授							1. 更なる世代間の交流が図られ るよう、内容の充実を図る。 2. 高齢者ボランティアバンクの 名簿が出来上がれば、それを活用 し、活動を拡げていくことが可能 となる。	安 全 ・ 安 心 部 会	A	・現在、方策にあるよ うな活動について実施 しており、継続して推 進を図る

※三世代交流事業・・・子ども・保護者・高齢者が一堂に会し、竹とんぼなどの昔遊びやさまざまな交流機会を通じ、お互いにもたらす良い効果や世代の枠を超えた絆をより深めるために実施している事業

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

実行プラン検討表「テーマ:健康・福祉」編

方策3 温泉施設等を利用した健康づくりの推進

具体的な取り組み	内容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗状況	5年後までに	進捗状況	10年後までに	進捗状況			部会	評価	具体的な方法及び理由
④温泉施設と保健センターの有効活用	温泉施設と保健センターが連携して健康づくり教室を開催するとともに、既存の健康づくり教室のPRを強化し、多くの方々が参加できる機会を提供する。	1. 意見交換会の実施 (梵天の湯・保健センター・地域) 2. 温泉施設と保健センターが連携し、健康づくり教室を開催 3. 保健センターで実施している各種健康づくり教室のPRの強化							1. 未着手 2. 年2回、健康づくり推進協議会が主催となり、温泉施設利用者に対し、タオル体操教室を開催している。 また、月1回、温泉施設利用者を対象とした保健師による健康相談日を設けている。 3. 健診の受診勧奨、各種健康教室の参加促進のため、ポスターの掲示など、施設間相互の協力体制を整備している。	安全・安心部会	A	・現在、方策にあるような活動について実施しており、継続して推進を図るとともに、健康マップを作成を制作しているため活用を図る
⑤歩くことによる健康づくり	上河内にある歩く会のネットワークを強化し、上河内地区全域のウォーキングデーを定め、温泉施設を中心とした周辺の散策などを行う。	1. 上河内にある歩く会のネットワーク化 2. ウォーキングデーを定め、梵天の湯周辺を散策						1. 地域で活動する4団体（老人クラブ連絡協議会、健康づくり推進協議会、歩く会、松風台で活動している団体）が協力して、年1回のイベントを開催する。 2. 健康づくり推進協議会の活動の一環として、本会が独自に作成したウォーキングマップを用いて、年1回、地域住民とともに梵天の湯周辺のコースを散策している。	にぎわいづくり部会	実施済み	H26年度上河内ふれあい祭りで同日開催を計画、その場合 ①「歩く会」で実施計画（案）を作成する。 （コースの設定、PR方法、参加者取りまとめ、協力者の依頼等） ②実施計画をにぎわいづくり部会で検討 ③まち協が、集客を見込める参加方の地域イベントとして実施する	

<p>⑥高齢者に配慮した温泉施設の再整備</p>	<p>利用者ニーズ調査に基づき、高齢者にやさしい温泉施設内の整備を行うことにより、安心して利用できる施設を提供する。(合併市町村基本計画付議事項)</p>	<p>1. 利用者ニーズ調査 2. 意見交換会の実施(地域・行政)</p>	<p>3. 高齢者に配慮した温泉施設内の再整備</p>			<p>1. 指定管理者と市ではアンケートを毎年実施している。 2. 指定管理者と所管課(観光交流課)での意見交換は随時実施している。 3. 利用者が快適に利用できるよう、施設を適正に維持管理するための整備工事、修繕工事を実施している。 また、アンケートの結果や利用者の意見を受けて修繕等を行う場合もある。</p>	
--------------------------	---	---	-----------------------------	--	--	--	--

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」

※ は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの

実行プラン検討表「テーマ:健康・福祉」編

方策4 地元の新鮮な食材を活かした食育の推進

具体的な取 り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現 状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗 状況	5年後までに	進捗 状況	10年後までに	進捗 状況			部 会	評 価	具体的な方法及び理由
⑦食とふれ あう機会の 提供	地元の食材を使用した料理教 室などを行い、食の大切さを 地域に広く伝えるとともに、 次の世代に食文化を継承する ための会食会などを開催する	1. 料理研究会をつくり、 地元食材を使用した料理教室 を開催 2. 会食会などの開催							1. 農生研で、米粉を推進し、料 理教室などを行っている。 年1回、健康づくり推進協議会 が主催となり、『かまのふた』と いう地域の風習に合わせ、仏様に 供える炭酸まんじゅう作り講習会 を開催している。 また、年1回、地元の名産物で ある『柚子』を使ったアイデア料 理の講習会を開催している。 (農生研・・・農村生活研究グ ループ上河内支部) 2. 小学校では、親子ふれあい給 食を実施している。	文化・ 交流部 会		
⑧学校と連 携した食育 活動	学校教育の中で農業体験を 拡大するとともに、自分で 収穫した野菜を使用して食 育教室を開催することで、 次の世代に食の大切さを伝 えていく。			1. 学校教育の中で 地場産野菜の栽培収 穫に参加 2. 小中学生を対象 に食育教室を開催					1. 小、中学校では田植えや ジャガイモ栽培収穫などを行っ ている。 2. 上河内学校給食センターが 主催となり、夏休み期間中に、 親子料理教室を開催している。 各学校で食育たよりの発行や お弁当の日の実施、食事マナー 指導等を実施している。	文化・ 交流部 会	A	・米粉だけでなく、地 元の食材を活かした食 育の推進 ・現在、伝統食(行事 食)の資料収集中(町 時代に作ったはず)
⑨地場産の 野菜等を 使った料理 の開発	地場産野菜等を使用したメ ニューの開発や上河内の郷土 料理など、上河内の食文化を 地域内外に波及させる。			1. 地場産野菜を使っ たメニューの開発 2. 郷土料理や開発し た料理を地域内外にP R					1. 2. 第27回全国健康福祉 祭とちぎ大会『ねりんピック栃 木2014』において、地場産野 菜をふんだんに使用した『梵天 汁』をふるまい鍋として、参加者 に提供した。 また、地域名物鍋として定着し ていく。	文化・ 交流部 会		

※進捗状況欄の記入 「○」完了, 「△」実施中(実施に向けての検討を含む), 「—」未着手

※評価 A「可能」, B「一部可能」, C「不可能」

実行プラン検討表「テーマ:健康・福祉」編

方策5 高齢者の外出支援の充実

具体的な取 り組み	内 容	手 法 ・ スケジュール						理由等	現状	上河内地区まちづくり協議会検討結果 (H26.3)		
		3年後までに	進捗 状況	5年後までに	進捗 状況	10年後までに	進捗 状況			部 会	評 価	具体的な方法及び理由
⑩高齢者の 外出意欲の 向上	高齢者の趣味や特技などを活 かした発表会などを開催する ことで、高齢者の外出意欲を 向上させる。	1. 高齢者の趣味や特 技などを調査 2. 高齢者の趣味や特 技などを活かした発表 会を開催							1. 2. ①老人クラブ作品展を実 施 (H26年度 2回 於自治セ ンターロビー) ②福祉まつり等イベントでのス テージ発表会開催 単独事業の開催を増やすのは難 しいので、様々なイベントの機会 に出展をするなど相互に相乗り事 業を行って交流を図る。	安全・ 安心部 会	A	・特技を持っている人 など埋もれている場合 があるので、再調査す る ・「まち教授」のリス トも年数が経つので再 調査したほうが良い
⑪デマンド タクシーを 利用した外 出支援の強 化	多くの高齢者が進んで外出 できるような地域に合った デマンドタクシーの運営に より、高齢者の外出を支援 する。	1. デマンドタクシー に対する理解の促進 2. 運営組織の設立 3. デマンドタクシー の運営		4. 運営組織の充実					1. 地域内利用者への周知を図 り、H25.10からデマンドタク シーが導入された。 2. H25.4に運営組織を設立し、 導入、運営を行っている。 3. 上記2と同じ 4. 利用促進を図るため、運営 組織の充実を図っていく。			

<p>⑫高齢者の身近なふれあいやづくりの場の提供</p>	<p>隣近所・公園・公民館など、いつでも集まれる場所を高齢者に開放することで、高齢者の趣味や特技などを活かすことができるふれあいの場を提供する。</p>	<p>1. 高齢者が楽しめる企画を設定 2. 地区毎の公民館を高齢者に開放する「ふれあい・いきいきサロン事業」の推進</p>		<p>3. 地域情報紙に高齢者事業を掲載</p>		<p>4. 新たなサロンの開設</p>		<p>1. 高齢者向け事業を各機関で実施している。 ①地区社会福祉協議事業 敬老会（年1回）、ふれあい会食会（年6回）、おせち料理配布（年1回） ②老人福祉センター、包括支援センター、保健センター、高齢福祉課で各事業（介護予防に関する運動や講話、教養講座など）を行っている。 2. 新設ふれあいいきいきサロン責任者に対し、保健師が健康づくりの概念及び健康器具の使用方法について指導するとともに、活動を支援している。（H27.3.31現在2か所） 3. 団体の紹介や、年間の催事予定、老人クラブ事業等を掲載している。 4. 新規開設の予定はない。</p>	<p>にぎわいづくり部会</p>	<p>実施済み</p>	<p>「参考」 ・社協の補助金24,000円を活用したふれあいサロンを2箇所を実施しており、これからも増加の傾向にある</p>
------------------------------	--	--	--	--------------------------	--	---------------------	--	---	------------------	-------------	---

※進捗状況欄の記入 「○」完了、「△」実施中(実施に向けての検討を含む)、「—」未着手

※ は行政に望むもの。他は、主に地域団体が取り組むもの
※評価 A「可能」、B「一部可能」、C「不可能」